

平成29年度 男女生き生き地域活動表彰

受賞事例紹介



▲男女生き生き地域活動表彰 表彰式
(平成29年10月28日男女生き生き地域活動フォーラムにて)

栃木県では、地域において男女共同参画に関する活動を積極的に展開している団体又は個人の優良事例を表彰する、「男女生き生き地域活動表彰」を創設しました。第1回となる今年度は4つの事例を優秀賞として表彰しました。

優 秀 賞



▲出前紙芝居(蔵の町子ファミリー)



▲子育て支援、親支援(となりのグランマ)



▲朗読劇(栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会)



▲防災ハンドブック配布(渡邊能辰さん)

■ 出前紙芝居(蔵の町子ファミリー)

栃木市

DATA

代表者氏名 青柳 恵美子(平成29年度)
メンバー 7名(女性4名、男性3名)
発足のきっかけ 栃木市男女共生大学受講生とその運営にあたったボランティアメンバーで平成17年に結成しました。
連絡先 090-5397-7378(代表/青柳)

活動内容

地域のイベントや高齢者施設へ出向き、家庭内の性別役割分担意識などをテーマとした自作の紙芝居を活用して出前紙芝居を実施し、男女共同参画の推進に貢献しました。

～テーマ～

「もの忘れ?認知症」

「老老見守り隊」

「向こう三軒両隣」

計7点



工夫している点

歌を交えながら参加者と交流の場を設け、意見交換も行っていきます。また、身近な話題をテーマに取り上げ、10分のストーリーに仕上げています。データは新しいものを使用すること、自分たちの言葉で伝えることを心がけています。

一言PR

活動を始めて11年となりました。今後も地域の様々な問題を取り上げ新しいものをつくり、啓発していきたいです。今後は活動の場を市全域に拡げていきたいと考えています。ご要望があれば直接出向き、紙芝居を行います。お気軽にご連絡ください。



■ 朗読劇(栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会)

日光市

DATA

代表者氏名 加藤 幸子
メンバー 12名(女性10名、男性2名)
発足のきっかけ 市町村合併前は各地域で活動していた男女共同参画地域推進員を、新日光市が誕生した平成20年に一本化し、発足しました。
連絡先 0288-21-5148
(日光市健康福祉部人権・男女共同参画課)

活動内容

日光市内4地域での市主催セミナーの前座や「男女共同参画を考えるとちぎ県民のつどい」で、ハラスメントをテーマとした自作の朗読劇を実施し、男女共同参画の推進に貢献しました。

～テーマ～

「マタハラ・バタハラは少子化に影響する」

「サルカニ・バイオレンス」

「3世代のある家庭の休日の出来事」



工夫している点

男女共同参画に関する身近な話題をテーマに、会員全員で台本を作成しています。国や県の状況などをナレーションとして取り入れ、分かりやすく伝えることと、会員が読みやすいように自分に合った言葉遣いを心がけています。

一言PR

会員を募集しています。男女共同参画社会実現のために一緒に活動しませんか。また、ご要望があれば直接出向き、朗読劇を披露します。お気軽にご連絡ください。



子育て支援、親支援(となりのグランマ)

栃木県

DATA

代表者氏名 川鍋 節子
メンバー 30名(女性30名)
発足のきっかけ 平成24年度「とちぎ女性政策塾」を受講したメンバーで、平成26年に結成しました。
連絡先 090-2629-0801(代表/川鍋)
ホームページ <https://tonarinoguranma.jimdo.com/>

活動内容

「子育て支援」「シニア世代の生きがい、社会貢献」の視点から、講座やイベント開催時のほか、個人からの依頼も受け、託児を実施し、幅広い世代の女性の活躍の推進に貢献しました。スタッフは、年に数回の研修を受け、現代の子育て事情や託児方法などを学んでいます。



工夫している点

メンバーそれぞれが仕事や他の活動をしている中、できる人ができることに取り組み、協力しあって活動しています。

一言PR

身近で頼れる身内のような存在でいたい!子育て世代がひとりで悩まず気軽に相談したり、子供を預けたりできる環境を作りたい!そんな思いで活動しています。個人託児、承ります。リフレッシュしたい時、上の子の行事がある時などにご利用ください。スタッフも募集中です。



防災ハンドブックの配布(渡邊能辰さん)

さくら市

活動内容

さくら市を中心に、個人宅や企業、公共施設等に出向き、「男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック」を手渡しにより配布し、地域防災の推進に貢献しました。平成27年度から29年度までの3年間の配布数は、800冊以上にのぼります。

「男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック」

(公財)とちぎ男女共同参画財団(平成25年1月)発行
様々な立場の住民が暮らす地域において、災害時に共に助け合うために、ふだんからの地域づくりや防災体制づくりについて男女共同参画の視点で考えるためのハンドブックです。
パルティとちぎ男女共同参画センターで配布しています。

問合せ先 028-665-7706((公財)とちぎ男女共同参画財団)



工夫している点

防災の基本的な質問が多いため、「災害への備え 我が家の防災計画」(県消防防災課発行)を配布し、日頃の備えについても説明します。また、相手に合わせて、「男女共同参画&キャリアを考える学習ノート」や「パルティ講座案内」を配布し、男女共同参画についても啓発しています。

一言PR

平成25年から活動を始め、これまでの配布数は2,150冊となりました。これからも高齢者の目線で、地域に必要な防災や男女共同参画について、自分のペースで発信していきたいです。



男女生き生き地域活動表彰

●対象

- ・男女共同参画地域推進員等が実施する男女共同参画の推進に資する活動
- ・個人、団体不問
- ・平成27年4月1日以降(過去2年間)に実施した活動

●審査基準

地域貢献度、波及性、モデル性、独自性等を評価

平成29年度
創設

男女生き生き地域活動フォーラムを開催しました。

日時:平成29年10月28日(土) 13:00~16:00 場所:パーティとちぎ男女共同参画センター

【当日のプログラム】

- 1.男女生き生き地域活動表彰 表彰式
- 2.男女生き生き地域活動表彰 受賞事例発表
(1)蔵の町子ファミリー 出前紙芝居「もの忘れ?認知症」
(2)渡邊 能辰 氏「男女共同参画の視点で取り組む防災ハンドブック配布」活動報告
(3)栃木県男女共同参画地域推進員日光市連絡会 朗読劇「マタハラ・パタハラは少子化に影響する」
- 3.パネルディスカッション
「毎日の暮らしの先にある地域活動を私たちが盛り上げよう」
コーディネーター:石井 大一郎 氏(宇都宮大学地域デザイン科学部准教授)
パネラー:坂田 恵 氏(となりのグランマ(男女生き生き地域活動表彰受賞団体)理事)
永島 朋子 氏(特定非営利活動法人いちかい子育てネット羽ばたき 副理事長)
岡本 美智子 氏(平成29年度とちぎウーマン応援塾受講生)



とちぎ女性活躍応援団
TOCHIGI ACTIVE WOMEN SUPPORTER

とちぎ女性活躍応援団に 登録しませんか!?

栃木県では、女性の活躍推進と一緒に取り組んでいただける団体を募集しています。

この応援団は、地域で活動するグループも対象となります。

ご登録いただけますと、「とちぎウーマンナビ」からグループの紹介ができ、活動のPRにお使いいただけます。

地域で活動しているみなさま、ご登録お待ちしております!

詳しくは

「とちぎウーマンナビ」で検索!

あるいは、
右のQRコードからアクセス!▶



栃木県男女共同参画地域推進員を 募集しています!

栃木県では、県内各地域で男女共同参画に関する普及啓発を図るために、栃木県男女共同参画地域推進員を委嘱しています。

地域推進員になると…

- ①地域推進員証とシンボルマークをかたどったオリジナルバッジをお渡しします。
- ②男女共同参画に関する最新情報の提供や研修会の開催を通して知識向上が図れます。
- ③県内各地域でグループや個人で活動していただけます。

詳しくは人権・青少年男女参画課へお問い合わせください。



お問合せ

栃木県県民生活部人権・青少年男女参画課 男女共同参画担当
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20
電話 028-623-3074 FAX 028-623-3150